

# どうなる?鎌倉のゴミ処理問題



皆さん、こんにちは鎌倉夢プロジェクトの会(鎌夢会)代表の高橋浩司です。小野田やすなり、永田まりな、ひなた慎吾です。  
私たち鎌夢会では、鎌倉市におけるゴミ処理問題につきまして、次のように考えております。

鎌倉夢プロジェクトの会 Web サイト

<http://kamamukaichannel.wix.com/>

鎌夢会チャンネル

<http://www.youtube.com/user/kamamukaichannel>

(各委員会報告はこちらをご覧ください)



## 鎌倉市のゴミの現状

### ●リサイクル率は全国上位でも、処理経費は高い

鎌倉市の家庭系ごみ1人1日当たりのゴミの排出量(平成23年度)は763gであり、神奈川県平均と比較すると42g多く排出しております。その結果、1人当たりの年間ゴミ処理経費(平成23年度)は18,756円となっており、神奈川県平均の14,361円と比較すると多くかかっております。

つまり、沢山の人にゴミ減量に向けてご協力をお願いしておりますが、まだ鎌倉市全体で考えると処理経費が高く、さらなるゴミ減量に向けての意識を市民全体に広げる必要があります。



### ●ゴミが流れ込んでいるかも・・・



事業系ゴミ処理手数料は近年の傾向では、20円/kg台に改定されております。しかし、鎌倉市では平成15年10月に13円/kgに改定されてから、現在まで改定されておられません。

藤沢市では、20円/kgとしており、同じ量を処理するにも鎌倉市のほうが安く処理できます。

そのため、藤沢市から鎌倉市へゴミが流れ込んでいるのではないかと指摘もされております。

また、家庭系ゴミの中に、商店街などの小規模店舗の事業系ゴミが入り込んでいる可能性があります。

このような事を踏まえ、近隣とバランスをとる施策も必要になってくるのではないのでしょうか。

鎌倉市にとってゴミ問題は、もう待ったなしの状態です!!

# 鎌夢会新聞

討議資料

【発行】  
鎌倉夢プロジェクトの会  
【お問い合わせ】  
鎌倉市浄明寺4-6-15  
TEL0467-24-8000

2月議会は12日(水)より始まります。どなたでも傍聴できます。また、インターネットでもご視聴いただけます。

# どうなる?! 鎌倉のゴミ処理問題

鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会(以下:減量審と書きます)は、市、事業者及び市民の相互の協力及び連携の下に減量化及び資源化を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項について、市長の諮問に応じ調査審議するために設置された機関です。平成 25 年 12 月 26 日に開催された減量審での主な意見をピックアップしてみました。 \*注意:各委員の意見を鎌夢会議員が要約したもので議事録ではありません\*

- A委員: クリーンステーション収集は生ゴミが不法投棄された場合、その生ゴミは収集せざるを得ない。それは有料でゴミを捨てる人の意識の低下を招く。やはり、戸別収集・有料化のセットを理解してもらわなければならない。理解を求めて、理解できる案を示してゆくことが必要だ。
- B委員: 有料化を先行して問題があったら後から戸別収集をプラスしていくという発想もある。
- C委員: 今の鎌倉は「理念」よりも、差し迫った問題の解決が緊急課題で「これしかない」ということを反対者に説明して、対案があれば聞いていくということしかない。
- D委員: もっと、わかりやすい説明をすべきだ。それが不足しているから反対の声が出る。
- E委員: 今まで払わなくて良かったものにお金を払う。反対が出るに決まっている。このような問題はやってみて理解を進めるしかないのではないのか? 有料化をやってみた後に「戸別収集も」という声が出てきたらプラスしていけば良いのではないのか?
- F委員: 反対はほんの一握りではないか? それに対して敏感になりすぎてはいないか? パブコムでは様々な意見が出たというが、何千人の意見なのか? 何十人程度ではないのか?
- 会長: 共通しているのは十分な説明が必要という点だが、今泉クリーンセンターの停止・ゴミの減量達成という差し迫った大きな課題があり、具体的な一歩を踏み出す必要があることを確認した。

平成 25 年 10 月 30 日に行われた減量審においてF委員からは、つぎのような意見も出されています。「9月議会で戸別収集・有料化について見合わせる決議がなされましたが、議会側からの代替案があってもよいかと思えます。現実的にあふれているゴミをどうするか? 検討してもらいたいです」

**\* 鎌夢会では、「戸別収集・有料化を実施した場合」「有料化のみを実施した場合」「両者とも実施しない場合」のメリット・デメリットを一覧表にまとめてみました \***

戸別収集・有料化のメリット・デメリット			(鎌夢会 監修)
項目	戸別収集・有料化を実施	有料化のみを実施	戸別収集・有料化ともに実施しない
ごみの減量効果	◎	○	×
ごみ処理経費の財政負担	×	○	△
ごみに対する意識改革	◎	◎	×
ごみ量に応じた負担の公平性	○	○	×
家計への経済的負担(平均5000円)	×	×	◎
排出者の明確化 (不適切排出の注意・監督) (事業系ごみ排出の防止)	◎	△	△
ごみ出しの負担軽減	◎	△	△
クリーンステーション周辺の美化 管理の負担軽減	◎	△	△
○:メリット、×:デメリット、△:変化なし			
※ ◎は、○に比べて効果があると思われるもの			